

平成23年（第7回）  
「社団法人日本ケーブルテレビ連盟 功労者表彰」  
の受賞者決定について

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟（東京都中央区京橋1-12-5、理事長 西條 温）では、当連盟独自の顕彰制度としての「社団法人日本ケーブルテレビ連盟 功労者表彰（略称：「連盟表彰）」を創設しています。

当顕彰制度の目的は、ケーブルテレビの事業面の業績（個別あるいは連携して行うもの）ならびに組織活動面の業績（当連盟の本部、支部あるいは都道府県協議会あるいは地域社会等において行うもの）によりケーブルテレビの事業振興と社会の発展に寄与し、またその功績が他の模範となることが顕著な者（個人（従業者、経営者）または団体（事業体等））を表彰することにより、ケーブルテレビの一層の進展と社会貢献への使命達成に資することとであります。贈賞式は当連盟の6月通常総会において行っています。

当表彰は本年第7回にあたりますが、去る5月18日開催の当連盟平成23年度第1回理事会において、添付資料のとおり計11名の個人を表彰することに決定しました。

贈賞式は、6月9日（木）当連盟第37回通常総会行事として、16時30分から東京都千代田区霞が関全社協・灘尾ホールにおいて、下記により執り行われます。

記

◇平成23年（第7回）「社団法人日本ケーブルテレビ連盟  
功労者表彰」（連盟表彰）の 贈賞式の開催概要

- 日 時 : 平成22年6月9日（木）16:30～17:30
- 場 所 : 全社協・灘尾ホール（東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルLB階）
- 受賞者一覧、受賞者の受賞理由（功績概要）は別紙Ⅰ、Ⅱの資料をご参照ください。

---

〔担当〕（社）日本ケーブルテレビ連盟 築島、河合 TEL 03-3566-8200

以上

平成23年（第7回）「社団法人日本ケーブルテレビ連盟功労者表彰」（連盟表彰）  
受賞者一覧（計11名 敬称略、50音順）

- ・金子 敦 （かねこ あつし） 株式会社ニューメディア  
取締役函館センター長
- ・川瀬 隆介 （かわせ たかよし） 株式会社キャッチネットワーク  
代表取締役社長
- ・齊藤 聡 （さいとう さとし） 三陸ブロードネット株式会社  
代表取締役社長
- ・佐野 正 （さの ただし） 株式会社ベイ・コミュニケーションズ  
代表取締役社長
- ・武川 以爾身（たけかわ ひふみ） 株式会社CATV富士五湖  
代表取締役
- ・田崎 健治 （たさき けんじ） 福井ケーブルテレビ株式会社  
代表取締役社長
- ・寺島 滋 （てらしま しげる） 株式会社上田ケーブルビジョン  
代表取締役社長
- ・戸谷 清一 （とや せいいち） 本庄ケーブルテレビ株式会社  
代表取締役社長
- ・福田 治樹 （ふくだ はるき） 武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社  
代表取締役社長
- ・松下 康 （まつした やすし） 株式会社 電通  
取締役
- ・甕 昭男 （もたい あきお） YRP研究開発推進協会  
会長

以上

平成23年(第7回)「社団法人日本ケーブルテレビ連盟功労者表彰」(連盟表彰)

受賞理由(功績概要)(11名 敬称略、50音順)

氏名	かねこ あつし 金子 敦	(株)ニューメディア 取締役函館センター長
経歴		北海道支部長・理事
		経営委員会人材開発部会副部長
		北海道支部副支部長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、(株)ニューメディアの函館センター開局時から現地に赴任。事業基盤の確立に貢献し、平成21年にはセンター長に就任した。</p> <p>また、平成21年からは北海道支部長に就任し、地域事業者の取りまとめに尽力するとともに、業界を代表して第2ネットワークの取得など、関係先との調整に務めた。</p> <p>さらに、連盟の経営委員会人材開発部会副部長として、業界における人材育成にも尽力した。</p>		
氏名	かわせ たかよし 川瀬 隆介	(株)キャッチネットワーク 代表取締役社長
経歴		東海支部長・理事
		法・制度委員会委員長同コンプライアンス委員会委員長 企画委員会通信・インターネット調査会副委員長、 対F T T H調査会委員長、業界ビジョン策定WG座長
		東海支部副支部長、愛知県協議会会長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、平成2年から(株)キャッチネットワークの立ち上げに携わり、平成18年には同社代表取締役社長に就任。社業の発展に取り組む一方、連盟の企画委員会委員として、通信・インターネット調査会副委員長をはじめ、対F T T H調査会委員長、業界ビジョン策定WG座長を務め、業界の基盤づくりに貢献した。</p> <p>また、平成21年には東海支部長・理事に就任。地域ケーブル局の取りまとめに尽力すると同時に、連盟の法・制度委員会委員長として、またコンプライアンス委員会委員長として、業界の権益の確保や業界内外の不正営業の防止等に多大な貢献を行った。</p>		

氏名	さいとう さとし 齊藤 聡	三陸ブロードネット(株) 代表取締役社長
経歴		東北支部長・理事
		経営委員会副委員長
		経営委員会スマイル利活用部会部会長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、平成14年に三陸ブロードネット（株）の代表取締役社長に就任、経営の建て直しを図り、今日の企業基盤の確立に多大な功績を残した。また、このたびの東北地方太平洋沖地震では、設備の大半が被害に遭うという未曾有の難局に直面したが、敢然と立ち向かい、復旧に奮闘している。</p> <p>一方、連盟活動についても、平成19年から東北支部長に就任し、地デジ化の推進や区域外再送信問題の解決に向けて、地域会員をとりまとめ、円滑な移行に貢献した。また、経営委員会スマイル利活用部会の部会長として、スマイルへの入力率の向上に尽力、業界の有力なデータソースへと育ててきた。</p>		
氏名	さの ただし 佐野 正	(株)ベイ・コミュニケーションズ 代表取締役社長
経歴		近畿支部長・理事
		法・制度委員会リスク対応部会長、衛放協との2者懇談会副会長
		近畿支部副支部長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、平成21年から近畿支部長に就任。この間、地域の取りまとめはもとより、地デジ化の推進、区域外再送信問題の解決等に尽力した。また、「ケーブルテレビショー in KANSAI 2009」や「わくわくデジタルフェスティバル 2011」を開催し、ケーブルテレビとコミュニティチャンネルのブランディングに貢献した。</p> <p>さらに、氏は、連盟本部の法・制度委員会のリスク対応部会長として、「パンデミックガイドライン」、「BCPガイドライン」の策定に、精力的に当たった他、連盟ホームページの「セキュリティ図書館」の全面更新を実現することで、情報セキュリティに関する連盟会員への情報提供と啓発に多大な功績を残した。</p>		
氏名	たけかわ ひふみ 武川 以爾身	(株)CATV富士五湖 代表取締役
経歴		南関東支部長・理事
		経営委員会 調査広報部会副部会長
		南関東支部副支部長、山梨県協議会長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、昭和45年同社設立時から取締役として経営に従事し、同社の事業基盤を築くとともに、山梨県のケーブルテレビ事業発展のために、尽力した。</p> <p>特に、平成15年には山梨県CATV連絡協議会副会長、並びに連盟南関東支部長として、2年間活躍。また、平成19年には県協議会の会長になるとともに、平成21年には再び連盟南関東支部長に就任。この間、デジタル放送化推進に尽力し、山梨県の区域外再送信については、民放各局との交渉を率先して行った。</p> <p>現在も、県協議会副会長、山梨県ケーブルネットワーク(株)の代表取締役として活躍している。</p>		

氏名	たさき けんじ 田崎 健治	福井ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長
経歴		北陸支部長・理事
		経営委員会委員長 同人材開発部会長
		福井県協議会会長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、現福井ケーブルテレビ（株）の立ち上げ準備段階から携わり、平成 11 年には、同社代表取締役就任。北陸CATV関係者連絡協議会や連盟北陸支部の立ち上げ・円満な運営に貢献。また福井県協議会の設立にも尽力し、初代会長に就き、現在に至っている。</p> <p>さらに、連盟本部の活動にも、平成 15 年から 17 年、平成 21 年から現在まで、2 期 4 年にわたって支部長を務め、地域事業者のとりまとめに貢献した。また、平成 21 年からは、経営委員会委員長、同人材開発部会長として、連盟本部の活動を積極的に支援し、特にトップセミナーの実施に当たっては、陣頭に立ち、質の高いセミナーとなるよう貢献した。</p>		
氏名	てらしま しげる 寺島 滋	(株)上田ケーブルビジョン 代表取締役社長
経歴		信越支部長・理事
		法・制度委員会 予算・税制・金融部会長
		信越支部副支部長
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、平成 11 年に(株)上田ケーブルビジョンの代表取締役社長に就任。社業の発展に尽くす一方、平成 19 年には信越支部副支部長、21 年には支部長に就任。長野県内 16 社の組織であった長野県ケーブルテレビ協議会を解散し、長野県内全事業者（支部加盟）による長野県協議会を新たに設立。</p> <p>また氏は、長野県内のケーブルテレビ業界が違法区域外再送信問題で混乱する中、長野県の区域外再送信実施への道筋をつけるとともに、エルシーブイの連盟復帰に貢献した。</p> <p>さらに氏は、平成 22 年 5 月、支部規約を改正し、支部運営の適正化にも多大な功績を残した。</p>		
氏名	とや せいいち 戸谷 清一	本庄ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長
経歴		北関東支部長・理事
		法・制度委員会 リスク対応部会副部会長
		埼玉ケーブルテレビ連盟
<p><b>【功績概要】</b></p> <p>氏は、平成元年に本庄ケーブルテレビ（株）の代表取締役社長に就任以来、IP 電話やWiMAX の普及に尽力するとともに、「ケーブルテレビは街づくり」を標榜し、地域密着の事業展開を図り、地域の発展と経営基盤の確立に貢献した。</p> <p>また氏は、平成 21 年に連盟北関東支部長に就任。地域事業者のとりまとめに貢献するとともに、法・制度委員会リスク対応部会副部会長として、連盟活動に尽力した。</p>		

氏名	福田 治樹	武蔵野三鷹ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長
経歴		東京支部長・理事
		法・制度委員会 通信・放送制度部会部会長
【功績概要】		
<p>氏は、平成 21 年より連盟東京支部長を務め、支部会員の取りまとめに貢献した。</p> <p>特に、第 2 ネットワーク I D 取得のため、関東 3 支部を代表して、放送事業者との協議に臨み、鋭意活動、早期に協議を完了させ、関東地区のケーブルテレビ業界のために道筋を立てた。</p> <p>また、平成 23 年 7 月の地上アナログ放送終了に向け、総務省関東総合通信局長との情報連携や支部会員局への地デジ推進に関する迅速な提供により、東京都における集合住宅対策の浸透を図るなど、地デジ化へのラストスパートに貢献するなど、ケーブルテレビ業界のプレゼンス向上に尽力した。</p>		
氏名	松下 康	(株)電通 取締役
経歴		連盟本部 理事
【功績概要】		
<p>氏は、昭和 46 年に電通に入社後、主にテレビ局関係を担当。平成 17 年に執行役員に昇格し、平成 18 年から連盟理事に就任。連盟活動に対しては、人材支援の面で格別の貢献を行うとともに、その専門性を活かし、ケーブルテレビ業界の発展に務めた。</p>		
氏名	甕 昭男	Y R P 研究開発推進協会 会長
経歴		連盟本部 理事
		ケーブルテレビ無線利活用促進協議会副理事長
【功績概要】		
<p>氏は、昭和 43 年に郵政省に入省後、主に電波関係の業務に携わり、郵政省退官後は、Y R P 研究開発推進協会会長や (財) テレコムエンジニアリングセンター理事長などを歴任。</p> <p>連盟活動としては、平成 19 年に、ケーブルテレビ無線利活用促進協議会副理事長に就任するとともに、連盟理事に就任。その専門性を活かし、ケーブルテレビ業界の電気通信分野、特に無線関係の新たな事業分野開拓に多大な貢献を行った。</p>		

平成 23 年 (第 7 回)「社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 功労者表彰」選考委員会メンバー

委員長：西條 温 (理事長)

委員：植村伴次郎 (顧問)

秦野一憲 (副理事長)、奥村博信 (副理事長)、河村 浩 (副理事長)

近藤一朗 (副理事長)、松本正幸 (副理事長)、築島幸三郎 (常務理事)

以上